

特集 未来につなぐ 鹿児島県の景観



鹿児島大学構内のイチョウ並木

豊かな自然と歴史的なまち並みに恵まれる鹿児島県。優れた景観を保全するとともに、魅力ある景観をつくりだしていこうと平成20年4月に鹿児島県景観条例が施行されました。

景観形成は、視覚的に美しいものを守り育てるというほかに、地域の人々が生き生きとした豊かな生活を送ることのできる「地域づくり」、「まちづくり」という地域振興上の大きな役割も持っています。

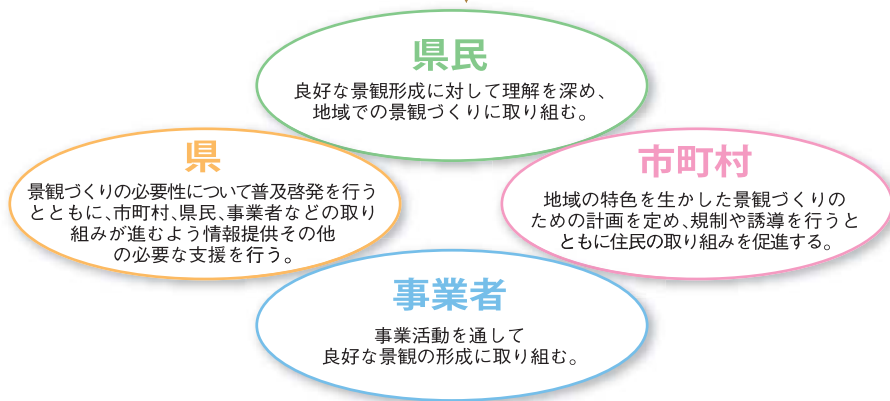
今回の特集では美しいまち並み、調和のとれた鹿児島らしい景観を30年後、50年後の将来の世代に引き継いでいくために行われる県内各地での取り組みについて紹介します。



霧島市丸尾のまち並み

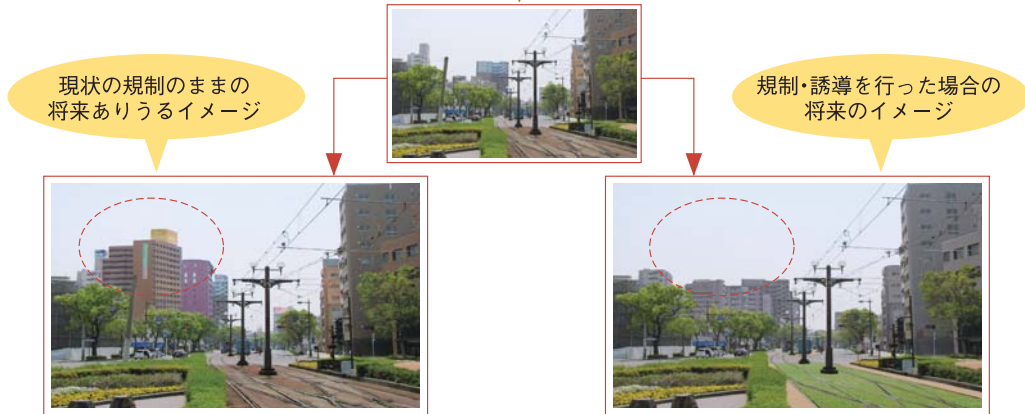
それぞれの役割

景観形成を進めていくためには、県民・事業者・県・市町村のそれぞれが次のような役割を果たしていく必要があります。



調和のとれた美しいまちなみの形成

住民や行政が共に力を合わせて良好な景観形成に取り組むことで景観はこのように守られていきます。



(鹿児島駅周辺)

守っていききたい地域の宝
自然や歴史・文化などの景観は、私たちだけのものではなく将来に受け継いでいかななくてはならない大切な財産です。

「風力発電の建設」と「自然景観保全」

クリーンエネルギーの一つとして期待されている風力発電。鹿児島県には、九州で最も多くの風力発電施設が建設されていますが、近年、風力発電施設の増加による景観への影響が心配されています。

このため、豊かな自然景観を有する鹿児島県では、地域の自然および歴史・文化的環境と調和した自然景観の保全を目的として、「鹿児島県風力発電施設の建設等に関する景観形成ガイドライン」を策定し、今年4月から施行しました。

クリーンエネルギーと自然景観の保全。この2つのバランスのとれた景観づくりが求められています。



景観アドバイザー

県では、地域の景観づくりを応援するために、専門的な助言や指導を希望するグループや団体に各専門分野の景観アドバイザーを派遣しています。

【専門分野】

○建築 ○デザイン ○屋外広告 ○観光
○自然・緑化 ○地域づくり ○環境

【問い合わせ先】

県庁地域政策課 ☎099(286)2428

景観アドバイザー 派遣制度を 知っていますか？



「自分の住んでいるところの素晴らしい気づくことが一番大切なこと」と話す有馬さん。

鹿児島は、ほかの県に比べてみても素晴らしい自然、歴史・文化、生活景観などが多い県です。これまで全国各地で繰り返し開発が行われてきた結果、地方の風景が画一的な個性が失われてきているのではないかと思います。今でも、鹿児島には美しい景観がたくさん眠っています。そういった景観を残し、生かすことが重要ではないでしょうか。

地元に住み続けていると、身近にある風景をおろそかにしてしまうことがあります。私たち景観アドバイザーは、専門の立場から客観的に地域の魅力を掘り起こすことも役割の一つと考えています。景観づくりは、行政がするものと思っている人も多いのですが、個人の意識の持ち方で作り出していけるものがあります。例えば、通りの景観づくりは、その通りに住む人たちが個人レベルでできる取り組みです。家を建てるときに家の前に木を植えたり花を咲かせたりすることで美しいまち並みづくりに貢献できると思います。個人では難しいと思わず自分ができる身近なところから始めてみてはいかがでしょうか。



敷地と道路との境界を感じさせない家づくり。有馬さんがプロデュースした家。

調和がとれたまち並みに

景観アドバイザーの有馬千草さん(淡・オフィス(有))



「ばらと一緒に大隅の景色も堪能してもらえたら」と話す北郷さん。

大隅をもっと知ってほしい

景観アドバイザーから、地域づくり分野でアドバイスを受けたNPO法人ローズリングかのやの取り組み例



ばら園は、全国に100カ所ある「恋人の聖地」の一つに認定されており、今年8月にはハート型の絵馬をつるす「ラブフェンス」が誕生。

「大隅の地形や、特色、景観などを聞かれることも多いので、どのようにすれば大隅の魅力がわかりやすく伝えられるかなど、ばら園内での案内業務に生かそうと思いいアドバイザーの派遣を依頼しました」と話すのは、ばら園誘客促進事業担当の北郷奏美さん。

「大隅の景観の特色などを歴史や文化的な面から説明することの大切さや、PRの方法などをアドバイスしてもらいました。これを生かして、まだ手付かずの状態が残っている大隅の魅力を、もっと多くの方に伝えていきたいです」と話してくださいました。

【問い合わせ先】NPO法人ローズリングかのや ☎0994-41-8718